

## 松ぼっくりのツリー作り

12月14日(水)酒田市宮海の西荒瀬保育園児を対象とした、今年最後のみどりの保育園「松ぼっくりのツリー作りによる森林環境教育」を実施しました。

この日は、酒田地域の師走としては珍しく晴天の天気恵まれ、暖かい日差しを浴びながらのクリスマスツリー作りとなり、年長組園児25名、保育園先生4名、庄内森林管理署1名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター4名、総勢34名が参加しました。

ツリーは、センター職員が国有林の保育作業終了箇所等から拾ってきたドイツウヒの実を枝葉として使用し、ツリーの幹にオオバクロモジの枝を、ツリーの土台にフナノ幹を使い、園児のために精根込めてツリーを作りました。さらに、ツリーの梢に白色を入れてホワイトクリスマスの雰囲気を出して見ました。

園児達は、ツリーの飾り付けのポイントについて、保育園の先生から指導を受けてから自分に合ったツリーを選んでいました。

園児の皆さんは、自分で選んだツリーの飾り付けに入り、木工ボンドでお星様、ビース、モールなどを飾り付けていきますが、飾りものがなかなかくっつきません。そんな時は、当センター職員等の出番でフラガンで接着してあげる手伝いを行いました。園児の皆さんも当センター職員等も懸命に飾り付けを行った結果、園児の皆さんの一人ひとりの個性溢れるツリーができ上がりました。

最後に、園児達は、自分だけのツリーを胸の前に持ち、ツリー作りの感想を発表してくれました。「綺麗に飾り付けが出来て嬉しかった」「ツリーの頭に毒きのこを付けてみました」など多くの園児の皆さんから感想を発表して頂きました。

24日、25日のクリスマスの日には、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんなどここで作ったツリーも飾って楽しんでほしいと思います。

なお、園児の皆さんは16日開催されるクロマツシンポジウムで一番始めに「クロマツの歌」を歌ってくれることになっています。当センターからは応援に駆けつけることと、園児の皆さんからは普段どおりの高い綺麗な声で歌うことを誓い合い、クリスマスツリー作りを終了しました。

